

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	表皮水疱症および自己免疫性水疱症における血清サイトカインを用いた掻痒のメカニズムの解明			
② 研究期間	学長許可日から 2030年3月31日			
③ 対象患者	対象期間中に当院で表皮水疱症、自己免疫性水疱症、薬疹、アトピー性皮膚炎、乾癬と診断された患者さん もしくは皮膚に疾患を有さない方			
④ 対象期間	2010年4月1日 から 2030年3月31日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学皮膚科学講座, 奈良県立医科大学附属病院皮膚科 北海道大学病院皮膚科 新潟大学医歯学総合病院皮膚科			
⑥ 研究責任者	氏名	新熊 悟	所属	奈良県立医科大学附属病院皮膚科
⑦ 使用する試料・情報等	当院で保存されている血清 臨床所見（年齢、性別、臨床症状（発症時期、皮疹の性状、重症度）、診断名、家族歴）			
⑧ 研究の概要	<p>表皮水疱症や自己免疫性水疱症では、かゆみを感じる事が多く、皮膚を掻くことで、容易に水疱やびらんが新たに生じてしまい、病気の悪化につながります。そのため、かゆみを抑える治療が重要ですが、これらの疾患でかゆみが生じる原因は明らかになっていません。この研究では、表皮水疱症や自己免疫性水疱症、そして比較対照として、薬疹、アトピー性皮膚炎、乾癬、皮膚疾患を有さない方の血液中のかゆみに関わり得るサイトカイン※を測定することで、かゆみが出現する機序を解明します。</p> <p>※サイトカイン：免疫細胞などから分泌されるタンパク質で、かゆみや炎症反応などさまざまな生理作用を示します。</p> <p>研究内容 奈良県立医科大学皮膚科学講座もしくは共同研究機関である新潟大学に血清や臨床所見を匿名化して送付し、いずれかの施設でサイトカインを測定します。</p>			

⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2020年 3月 31日		
⑩ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。			
⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。 研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。			
⑬ 問い合わせ先・ 相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 皮膚科 担当者：新熊 悟			
	電話	0744-22-3051	FAX	0744-25-7657
	Mail	shinkuma@naramed-u.ac.jp		
⑭ 研究の資金源	この研究は、奈良県立医科大学皮膚科学講座の研究資金を用いて実施します。しかし、この研究の実施や報告の際に、金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切ありません。			
⑮ 利益相反	この研究は、奈良県立医科大学皮膚科学講座の研究費で実施します。特定の企業・団体等からの支援を得て実施するものではありません。			